



タッチラグビー楽し

福井初の中部北陸交流戦

タッチラグビーの第1回中部・北陸交流戦 in 福井（福井新聞社後援）が1、2の両日、福井市のふくい健康の森で開かれた。県内外から4チーム、約35人が参加し、合同練習会と交流戦を行った。タッチラグビーはタックルやスクラムなど激しい接触プレーはなく、体にタッチをすれば相手の攻撃を止められるため、老若男女が一緒に楽しめ

タッチラグビーの第1回中部・北陸交流戦 in 福井の合同練習会で練習する参加者 1日、福井市のふくい健康の森

るのが特徴。

1日は、本県の越前がピンキーズと狛江タッチ（東京）の男女15人が合同練習会を開いた。パスの投げ方や取り方を学んだ後、3人1組でパス練習を行った。

2日の午前中は、混合チームによる勝ち負けを決めない試合を行い、選手は前日のパス練習やサインプレー練習の成果を発揮。午後から開かれた交流戦では、愛知ベアーズ（愛知）が優勝した。